

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第37週の発生動向

全数報告の感染症 (37 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 6 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症：レジオネラ症 1 例、レプトスピラ症 1 例。5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	30 歳代	女	肺結核	咳、痰
			60 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80 歳代	女	肺結核	咳
			80 歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		都城	80 歳代	男	結核性胸膜炎	咳、胸水(膿瘍)
		延岡	80 歳代	男	肺結核	痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	0~4歳	男	—	腹痛、水様性下痢、血便 O103(VT1産生)
4類	レジオネラ症	宮崎市	60 歳代	男	肺炎型	発熱、腹痛、下痢、肺炎
	レプトスピラ症	宮崎市	70 歳代	男	—	発熱、結膜充血、黄疸、出血症状、蛋白尿、腎不全

定点把握の対象となる 5 類感染症

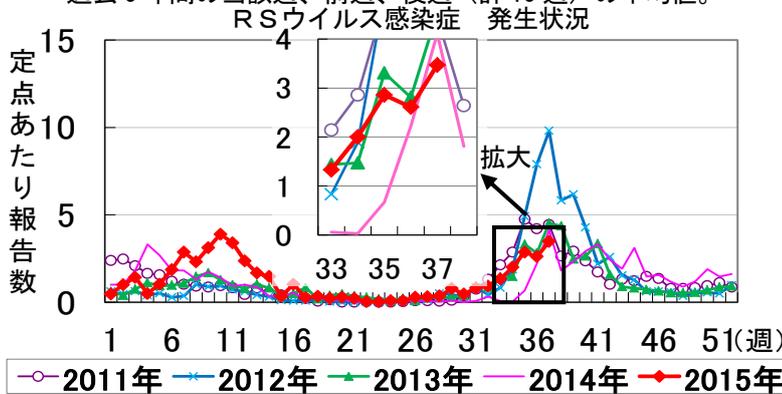
・定点医療機関からの報告総数 775 人 (定点当たり 24.1) で、前週比 94%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

・報告数は 125 人 (3.5) で、前週比 133%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (3.9) の約 0.9 倍であった。年齢別では 1 歳が全体の約半数を占めた。

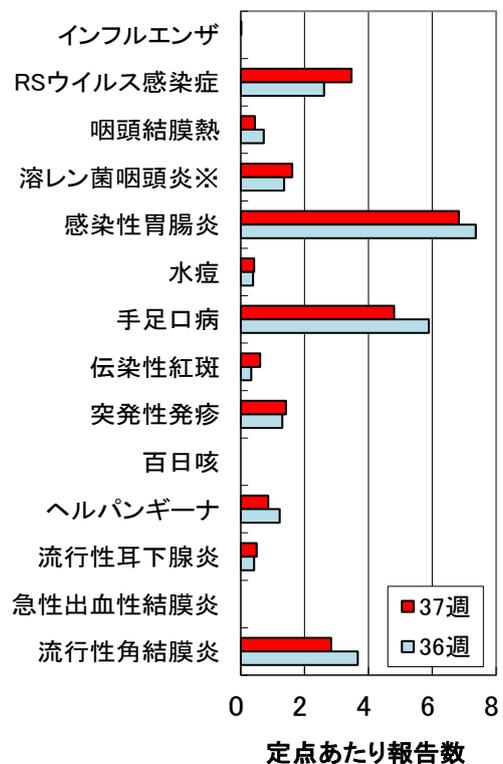
*過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値。



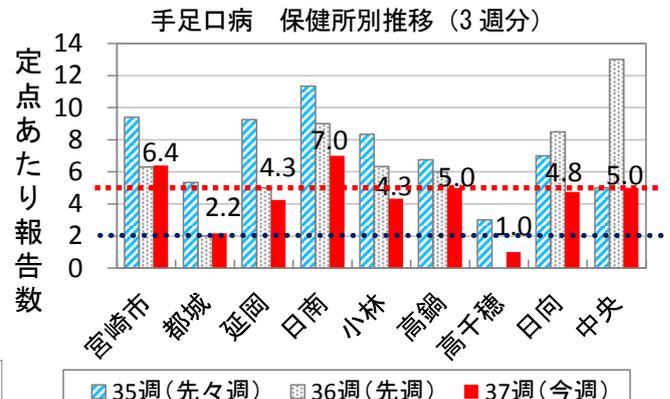
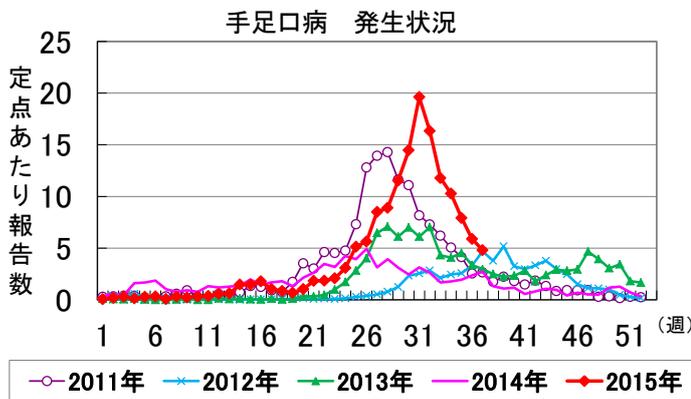
【手足口病】

・報告数は 173 人 (4.8) で、前週比 82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (2.6) の約 1.8 倍と多い。日南(7.0)、宮崎市(6.4)、高鍋及び中央(各 5.0)保健所からの報告が多く、年齢別は 6 カ月~1 歳が全体の約半数を占めた。

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



手足口病 流行警報レベル開始基準値 5.0 流行警報レベル終息基準値 2.0

★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所管内で2例報告があった。1～4歳と5～9歳が各1例ずつで、いずれも鼻咽頭ぬぐい液から *Mycoplasma pneumoniae* が検出された。

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(6.4)
都城	なし
延岡	なし
日南	手足口病(7.0)
小林	流行性耳下腺炎(3.3)
高鍋	手足口病(5.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(5.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

・手足口病(5.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

・流行性耳下腺炎(3.0)

📌 全国第36週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第36週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	395例				
3類感染症	細菌性赤痢	2例	腸管出血性大腸菌感染症	174例	パラチフス	1例
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例
	チクングニア熱	2例	つつが虫病	2例	デング熱	14例
	日本紅斑熱	5例	マラリア	2例	レジオネラ症	45例
5類感染症	アメーバ赤痢	21例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	32例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	15例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	12例	水痘(入院例)	1例
	梅毒	39例	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	4例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例	風しん	1例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比99%とほぼ横ばいであった。前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は2,083人(0.66)で前週比122%と増加した。大分県(2.7)、宮崎県(2.6)、福岡県(2.5)からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。

手足口病の報告数は16,092人(5.1)で前週比90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約2.3倍と多い。長野県(13.7)、山形県(12.7)、新潟県(12.6)からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第37週(9月7日～9月13日)

疾病名		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		1					1				
	定点あたり	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	94	125	72	27	3	9	2	7		2	3
	定点あたり	2.61	3.47	7.20	4.50	0.75	3.00	0.67	1.75	0.00	0.50	3.00
咽頭結膜熱	報告数	26	16		4	2	4				4	2
	定点あたり	0.72	0.44	0.00	0.67	0.50	1.33	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	49	58	14	8	15	10		1		9	1
	定点あたり	1.36	1.61	1.40	1.33	3.75	3.33	0.00	0.25	0.00	2.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	265	246	54	76	10	33	21	8	10	18	16
	定点あたり	7.36	6.83	5.40	12.67	2.50	11.00	7.00	2.00	10.00	4.50	16.00
水痘	報告数	14	15	7	1	2					5	
	定点あたり	0.39	0.42	0.70	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.25	0.00
手足口病	報告数	212	173	64	13	17	21	13	20	1	19	5
	定点あたり	5.89	4.81	6.40	2.17	4.25	7.00	4.33	5.00	1.00	4.75	5.00
伝染性紅斑	報告数	12	22	11	4	3	3				1	
	定点あたり	0.33	0.61	1.10	0.67	0.75	1.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	47	51	20	7	6	3	5	6	1	3	
	定点あたり	1.31	1.42	2.00	1.17	1.50	1.00	1.67	1.50	1.00	0.75	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	44	31	5	4	6	9				6	1
	定点あたり	1.22	0.86	0.50	0.67	1.50	3.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	15	18		1	5		10	1		1	
	定点あたり	0.42	0.50	0.00	0.17	1.25	0.00	3.33	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	22	17	14	2	1						
	定点あたり	3.67	2.83	4.67	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1									0.00	
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	2									0.00	
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		2	2								
	定点あたり	0.00	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点: 59、小児科定点: 36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点: 6、基幹定点: 7

上段: 報告数
下段: 定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～37週)

2類感染症	結核	151例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	32例(1)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	5例
	つつが虫病	3例	デング熱	1例	日本紅斑熱	7例
	マラリア	1例	レジオネラ症	4例(1)	レプトスピラ症	1例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	14例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	2例
	破傷風	6例				

()内は今週届出分、再掲

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2015年8月>

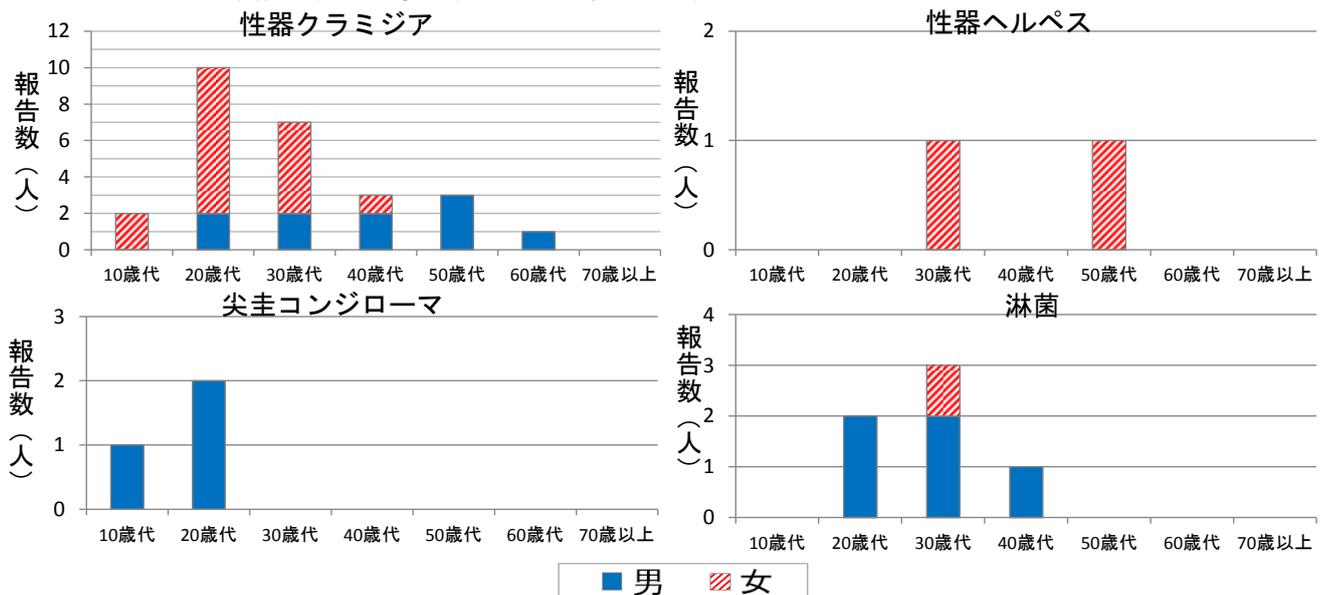
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は37人(2.9)で、前月比82%と減少した。また、昨年8月(2.9)とほぼ同じであった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数26人(2.0)で、前月の約0.9倍、昨年8月の約1.2倍であった。20歳代が全体の約4割を占めた。(男性10人・女性16人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人(0.15)で、前月の0.5倍、昨年8月の約0.7倍であった。(女性2人)
- 尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月の1.5倍、昨年8月の1.5倍であった。(男性3人)
- 淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月の約0.5倍、昨年8月の0.5倍であった。30歳代が全体の半数を占めた。(男性5人・女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：980

定点医療機関からの報告総数は3,997人(4.1)で、前月比94%とやや減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,049人(2.1)で前月比94%、性器ヘルペスウイルス感染症713人(0.73)で前月比97%、尖圭コンジローマ474人(0.48)で前月比92%、淋菌感染症761人(0.78)で前月比94%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で前月比84%と減少した。また昨年8月(4.0)の約0.8倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数21人(3.0)で、前月及び昨年8月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：476

定点医療機関からの報告総数は1,623人(3.4)で、前月比102%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,471人(3.1)で前月比106%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症128人(0.27)で前月比79%、薬剤耐性緑膿菌感染症24人(0.05)で前月比83%であった。